

東洋炭素株式会社

2023年12月期 決算説明資料

2024年2月20日

東洋炭素株式会社

2023年12月期 決算概要

1. 2023年12月期 業績

	FY2022	FY2023			
	(A)	(A)	(F) *	前期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	43,774	49,251	48,500	+ 5,477 / + 12.5 %	+ 751 / + 1.5 %
営業利益	6,667	9,283	8,500	+ 2,615 / + 39.2 %	+ 783 / + 9.2 %
(売上高営業利益率)	15.2%	18.8%	17.5%		
経常利益	7,369	10,182	9,300	+ 2,813 / + 38.2 %	+ 882 / + 9.5 %
(売上高経常利益率)	16.8%	20.7%	19.2%		
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,181	7,506	7,000	+ 2,324 / + 44.9 %	+ 506 / + 7.2 %
1株当たり 当期純利益	247円08銭	357円91銭	333円77銭		
ROE	6.9%	9.3%	8.8%		
為替レート	131.5円/\$ 138.1円/€ 19.5円/人民元	140.6円/\$ 152.0円/€ 19.8円/人民元	133円/\$ 146円/€ 19円/人民元		

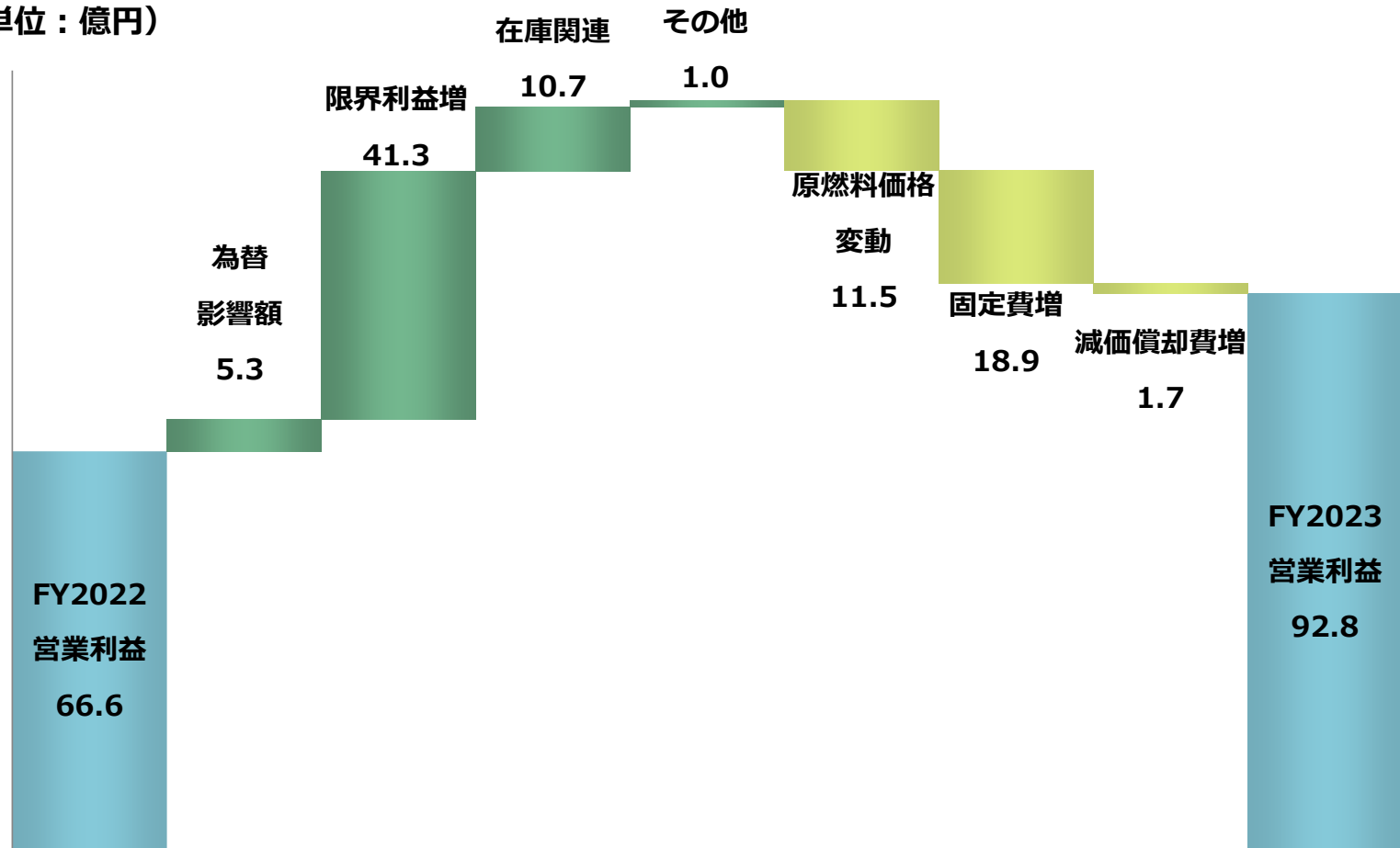
* 2023年8月9日公表
為替はH2前提

2. 営業利益増減要因

(2022年12月期実績 vs2023年12月期実績)

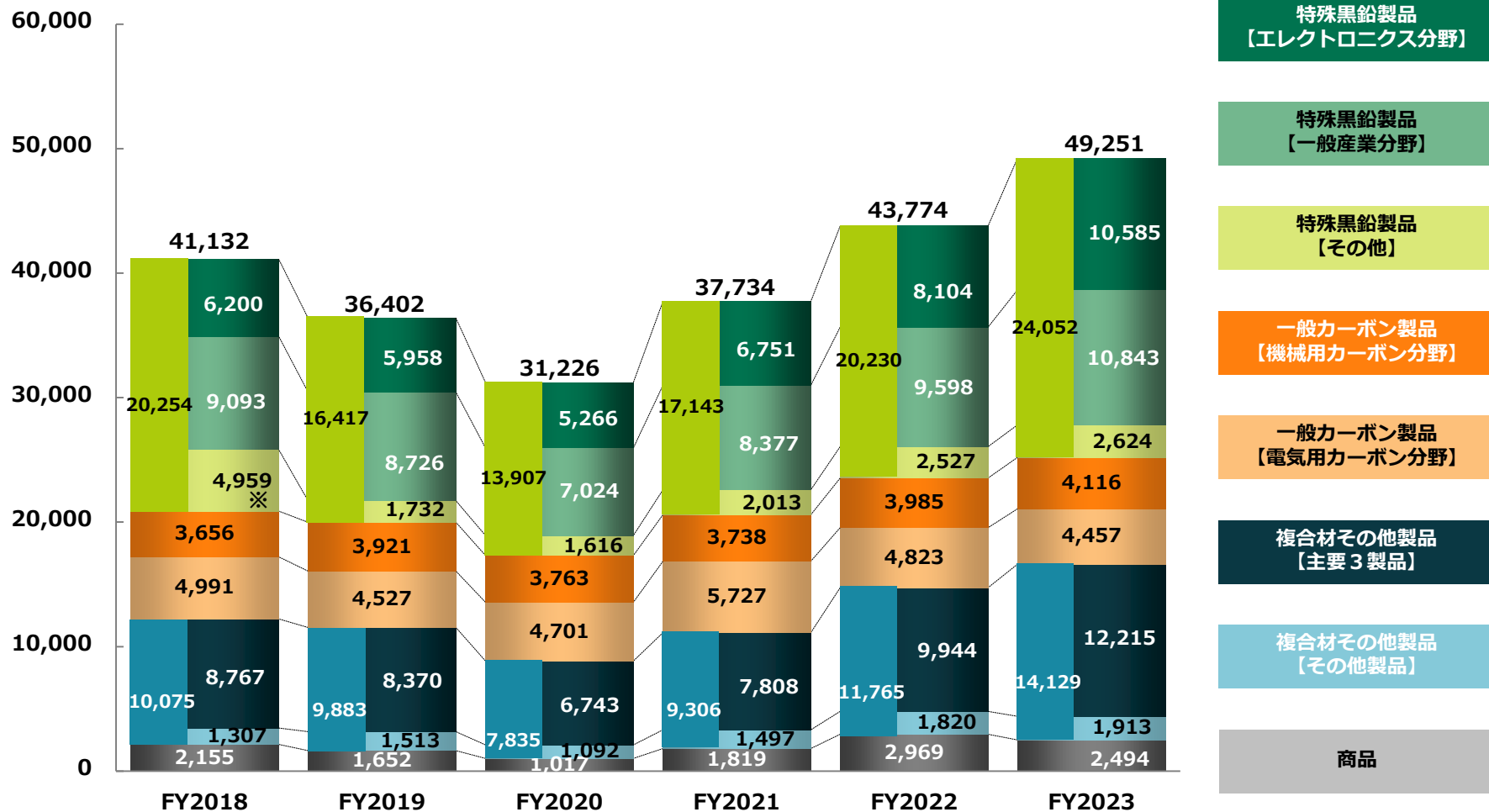
- ✓ 人件費を中心に固定費増加も、限界利益の増加（数量・製品構成・価格転嫁）で +39.2%の大幅増益を達成 原燃料価格高騰の影響は、価格転嫁で吸収

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

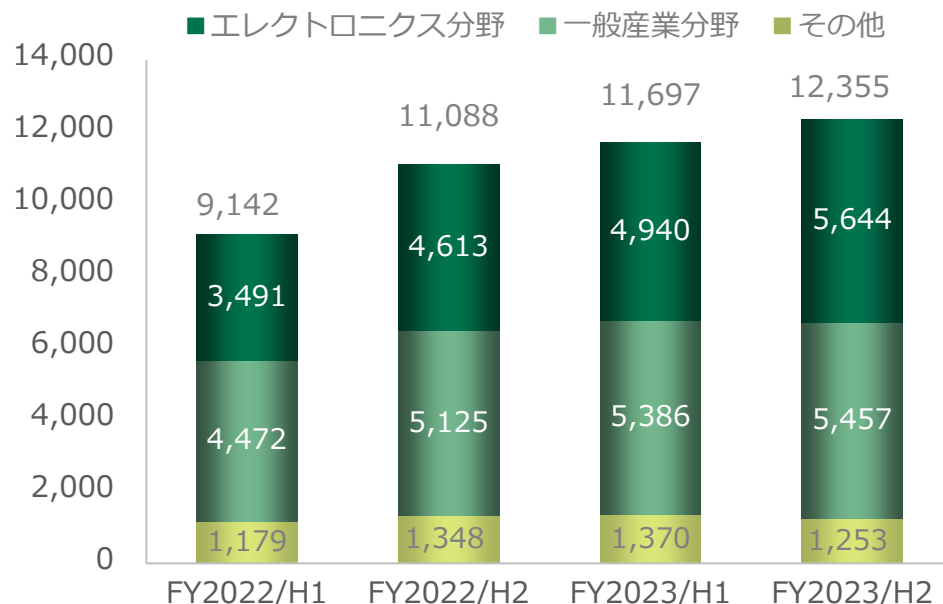
(単位：百万円)



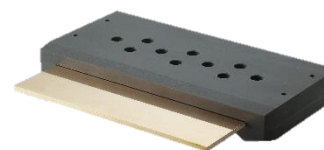
※ FY2018の特殊黒鉛製品 その他の売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



連続製造用ダイス



単結晶シリコン製造装置



放電加工用電極

【エレクトロニクス分野】

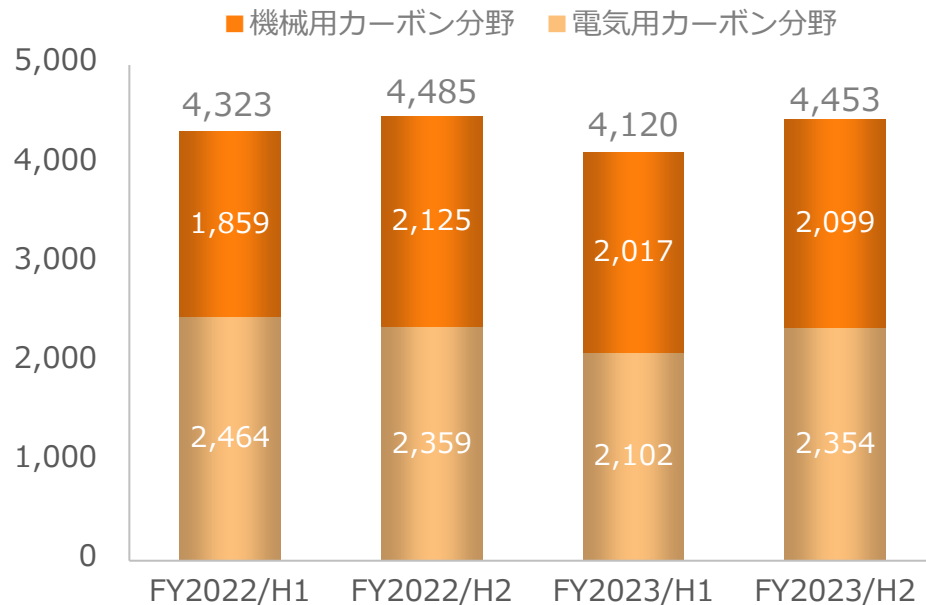
単結晶シリコン製造用は、下期小幅に販売減も、上期の大幅な販売増で前期比増。SiC半導体向けを中心とした化合物半導体製造用は、引き続き需要強く、前期比大幅増。これにより両用途は三期連続で最高売上を達成。太陽電池製造用は、付加価値品にフォーカスした選別受注を継続も底堅い需要により前期比増。

【一般産業分野】

自動車関連産業の稼働回復や底堅い設備投資等を背景に、連続製造用や工業炉用等の冶金用や、放電加工電極が堅調に推移。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

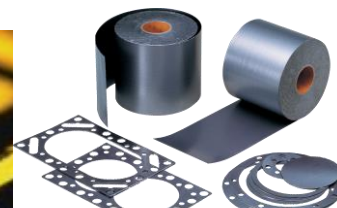
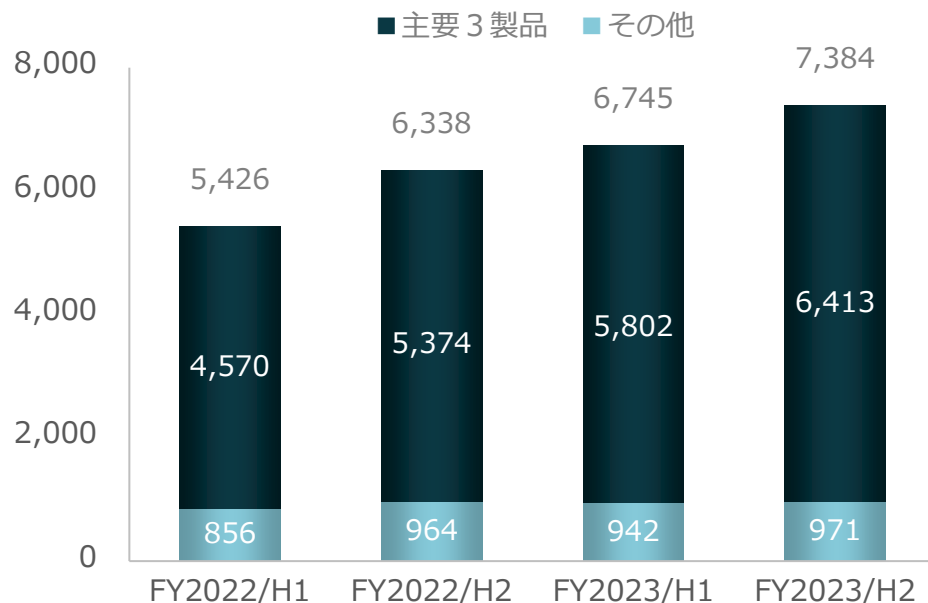
軸受・シールリング、パンタグラフ用すり板とも需要堅調で、前期比増。

【電気用カーボン分野】

家電・電動工具向け小型モーター用は、顧客の生産調整の影響で需要底這い。
大型モーター用は、品質の高さが認められ、用途開拓が着実に進展。売上は小規模ながら、風力発電等をはじめとした産業機械向けでの採用進む。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

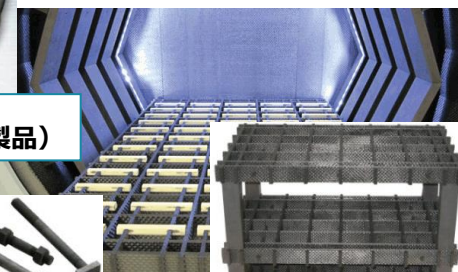
(単位：百万円)



黒鉛シート製品



MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)

【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は、SiCエピタキシャル用途が飛躍的に増加。Siエピタキシャル用途も堅調。LED用は底這い続くも、活況な半導体用途にリソース配分し、同製品は前期比大幅増で過去最高売上を記録。

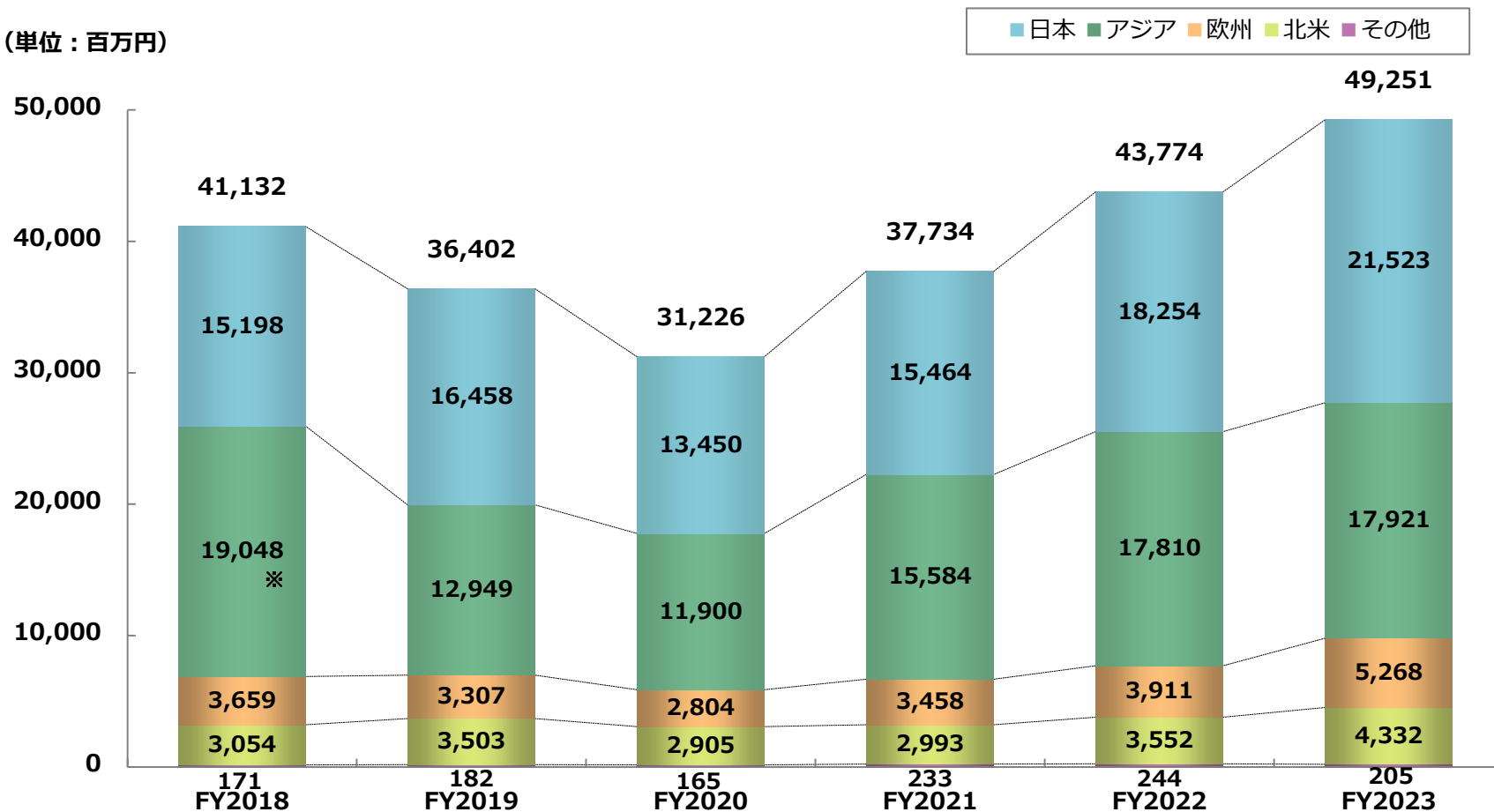
C/Cコンポジット製品は、工業炉用の需要増加で前期比増。

黒鉛シート製品は、自動車用・半導体用・冶金用の需要がいずれも底堅く、前期並み。

4. 地域別売上高

- ✓ 日本・欧州・北米は半導体・冶金用の需要に支えられ着実に増加
アジアは電気用カーボン・一部地域の調整あるも、その他用途は概ね堅調

(単位：百万円)



※ FY2018のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 2023年12月期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)	
	2022/12E	2023/12E
資産合計	89,432	96,612
受取手形及び売掛金	16,606	17,494
たな卸資産	18,416	21,806
有形固定資産	31,138	33,243
負債・純資産合計	89,432	96,612
有利子負債	285	-
資本金	7,947	7,947
純資産	77,200	84,524
自己資本比率	86.3%	87.4%

連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	FY2022	FY2023
現金及び現金同等物の期首残高	12,470	11,773
現金及び現金同等物の増減額	▲ 696	1,828
現金及び現金同等物の期末残高	11,773	13,601
営業活動によるCF	5,625	6,216
投資活動によるCF	▲ 5,253	▲ 2,693
財務活動によるCF	▲ 1,388	▲ 1,970

2024年12月期業績予想

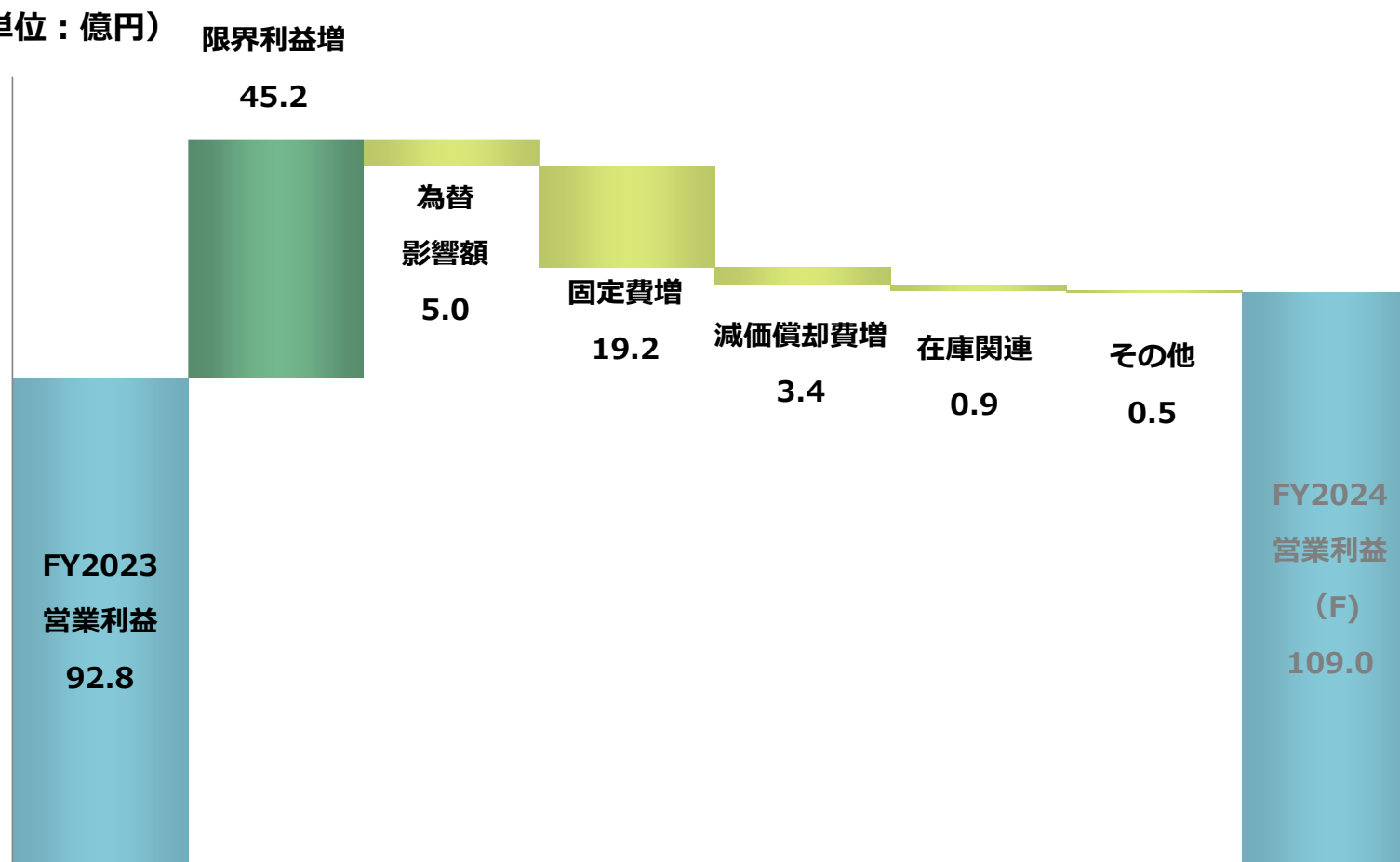
1. 2024年12月期業績予想

(単位：百万円)	FY2023			FY2024 (F)			
		内訳			内訳		前期比
売上高	49,251	H1	23,712	54,000	H1	25,500	+ 4,748 / + 9.6 %
		H2	25,539		H2	28,500	
営業利益	9,283	H1	4,610	10,900	H1	5,100	+ 1,616 / + 17.4 %
		H2	4,672		H2	5,800	
(売上高営業利益率)	18.8%			20.2%			
経常利益	10,182	H1	5,338	10,500	H1	4,800	+ 317 / + 3.1 %
		H2	4,844		H2	5,700	
(売上高経常利益率)	20.7%			19.4%			
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,506	H1	4,128	7,600	H1	3,500	+ 93 / + 1.2 %
		H2	3,377		H2	4,100	
1株当たり 当期純利益	357円91銭	H1	196円85銭	362円38銭	H1	166円89銭	
		H2	161円06銭		H2	195円49銭	
ROE	9.3%			8.7%			
為替レート	140.6円/\$ 152.0円/€ 19.8円/人民元			135円/\$ 149円/€ 19円/人民元			

2. 営業利益増減要因 (2023年12月期 vs 2024年12月期)

- ✓ 引き続き、人件費等の固定費や減価償却費が増加傾向ながら数量・製品構成差により限界利益増加で、100億円の大台達成の見込み

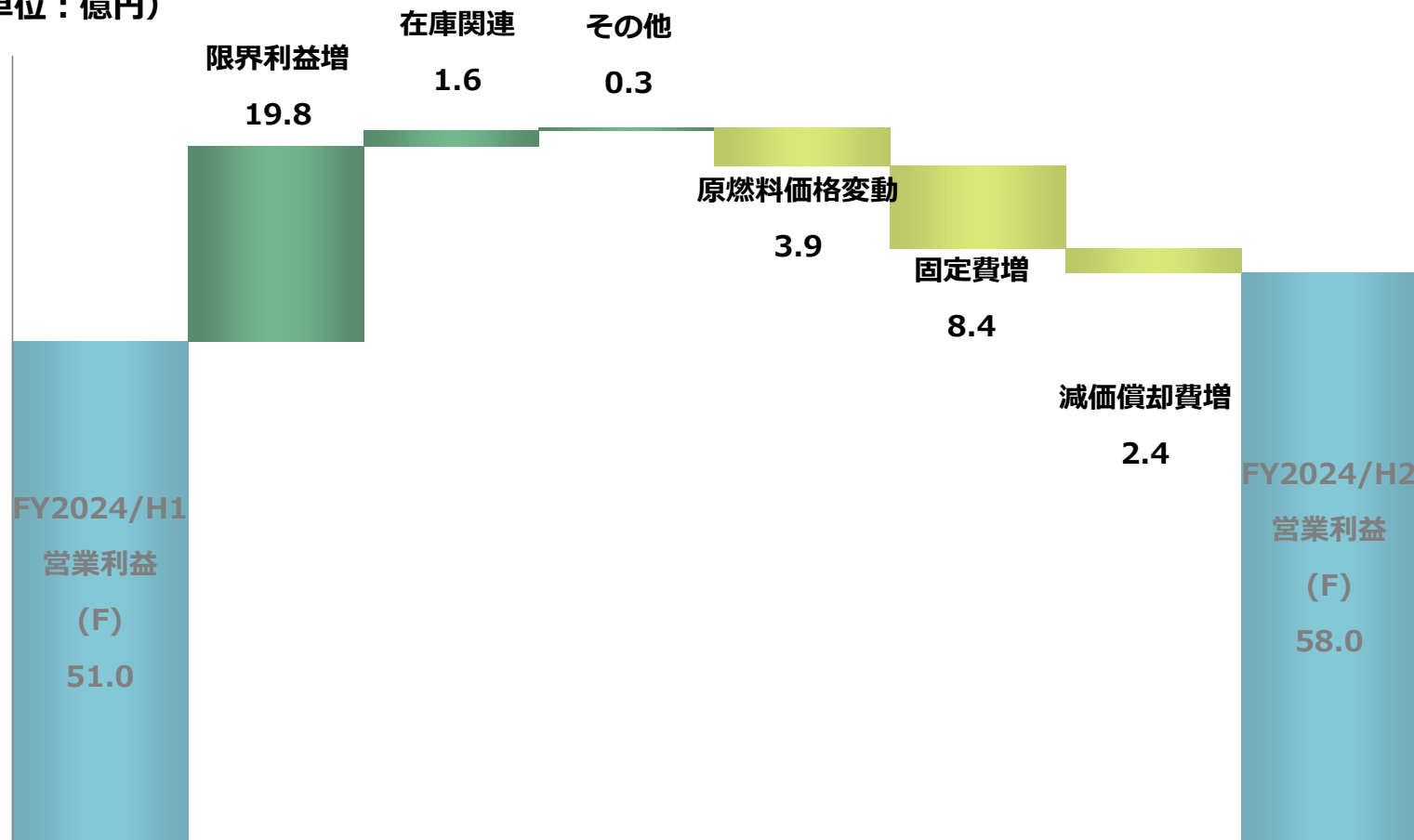
(単位：億円)



2. 営業利益増減要因 (2024年12月期上期 vs 下期)

✓ 固定費増や原燃料価格上昇、減価償却費増を限界利益増が吸収し増益

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

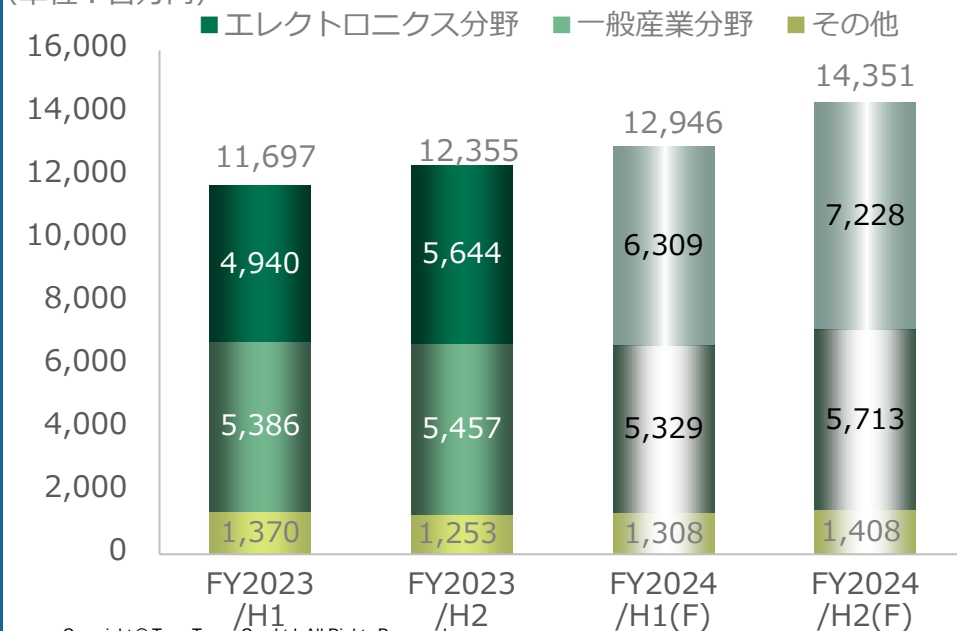
製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024(F)					
	H1	H2	通期	H1	増減	H2	増減	通期	増減
特殊黒鉛製品	11,697	12,355	24,052	12,946	+10.7%	14,351	+16.1%	27,297	+13.5%
エレクトロニクス分野	4,940	5,644	10,585	6,309	+27.7%	7,228	+28.1%	13,538	+27.9%
一般産業分野	5,386	5,457	10,843	5,329	▲1.1%	5,713	+4.7%	11,043	+1.8%
その他	1,370	1,253	2,624	1,308	▲4.6%	1,408	+12.3%	2,716	+3.5%
一般カーボン製品（機械用）	2,017	2,099	4,116	1,724	▲14.5%	1,785	▲14.9%	3,510	▲14.7%
一般カーボン製品（電気用）	2,102	2,354	4,457	2,509	+19.3%	2,584	+9.8%	5,094	+14.3%
複合材その他製品	6,745	7,384	14,129	7,711	+14.3%	8,881	+20.3%	16,592	+17.4%
主要3製品	5,802	6,413	12,215	6,769	+16.7%	7,790	+21.5%	14,559	+19.2%
その他	942	971	1,913	941	▲0.1%	1,091	+12.4%	2,033	+6.2%
商品	1,149	1,345	2,494	607	▲47.1%	897	▲33.3%	1,505	▲39.7%
合計	23,712	25,539	49,251	25,500	+7.5%	28,500	+11.6%	54,000	+9.6%

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024(F)					
	H1	H2	通期	H1	増減	H2	増減	通期	増減
特殊黒鉛製品	11,697	12,355	24,052	12,946	+10.7%	14,351	+16.1%	27,297	+13.5%
エレクトロニクス分野	4,940	5,644	10,585	6,309	+27.7%	7,228	+28.1%	13,538	+27.9%
一般産業分野	5,386	5,457	10,843	5,329	▲1.1%	5,713	+4.7%	11,043	+1.8%
その他	1,370	1,253	2,624	1,308	▲4.6%	1,408	+12.3%	2,716	+3.5%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

- ・単結晶シリコン製造用は、上期低迷も下期より徐々に回復。SiC半導体向けの化合物半導体製造用は強い需要が継続。半導体用途へのリソース配分を優先し、太陽電池製造用は一段の絞り込み。

【一般産業分野】

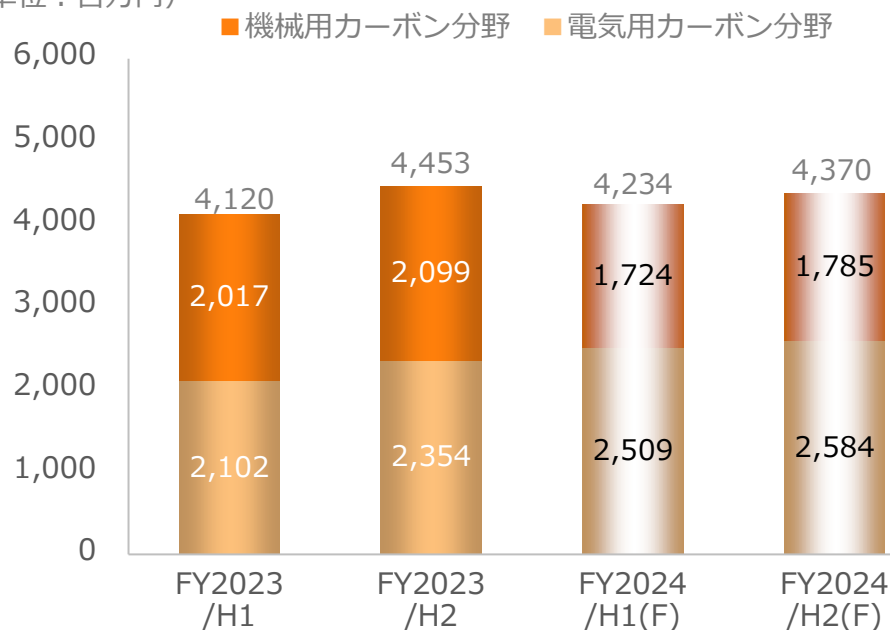
- ・放電加工電極は付加価値品販売への注力で、前期比減も、工業炉・連続铸造用などの冶金用は前期増で同分野は高水準継続。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024(F)					
	H1	H2	通期	H1	増減	H2	増減	通期	増減
一般カーボン製品（機械用）	2,017	2,099	4,116	1,724	▲14.5%	1,785	▲14.9%	3,510	▲14.7%
一般カーボン製品（電気用）	2,102	2,354	4,457	2,509	+19.3%	2,584	+9.8%	5,094	+14.3%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- 採算性等を鑑み、特定案件の取引終了。これにより前年比ダウンも、その他軸受・シールリングは安定的に推移。採算性・将来性ある新規用途の開拓を推進。

【電気用カーボン分野】

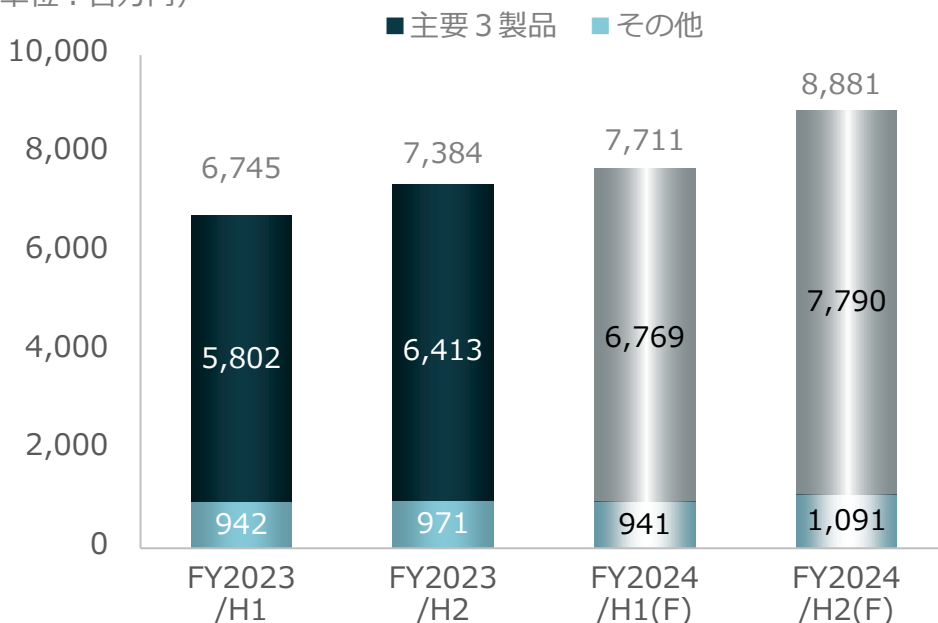
- 家電・電動工具向け小型モーター用は、底を脱し、徐々に回復の見込み。
- 産業機械向けの大型モーター用は、依然ボリューム小さいものの用途開拓は着実に進展。継続して取り組みを進める。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2023			FY2024(F)					
	H1	H2	通期	H1	増減	H2	増減	通期	増減
複合材その他製品	6,745	7,384	14,129	7,711	+14.3%	8,881	+20.3%	16,592	+17.4%
主要3製品	5,802	6,413	12,215	6,769	+16.7%	7,790	+21.5%	14,559	+19.2%
その他	942	971	1,913	941	▲0.1%	1,091	+12.4%	2,033	+6.2%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



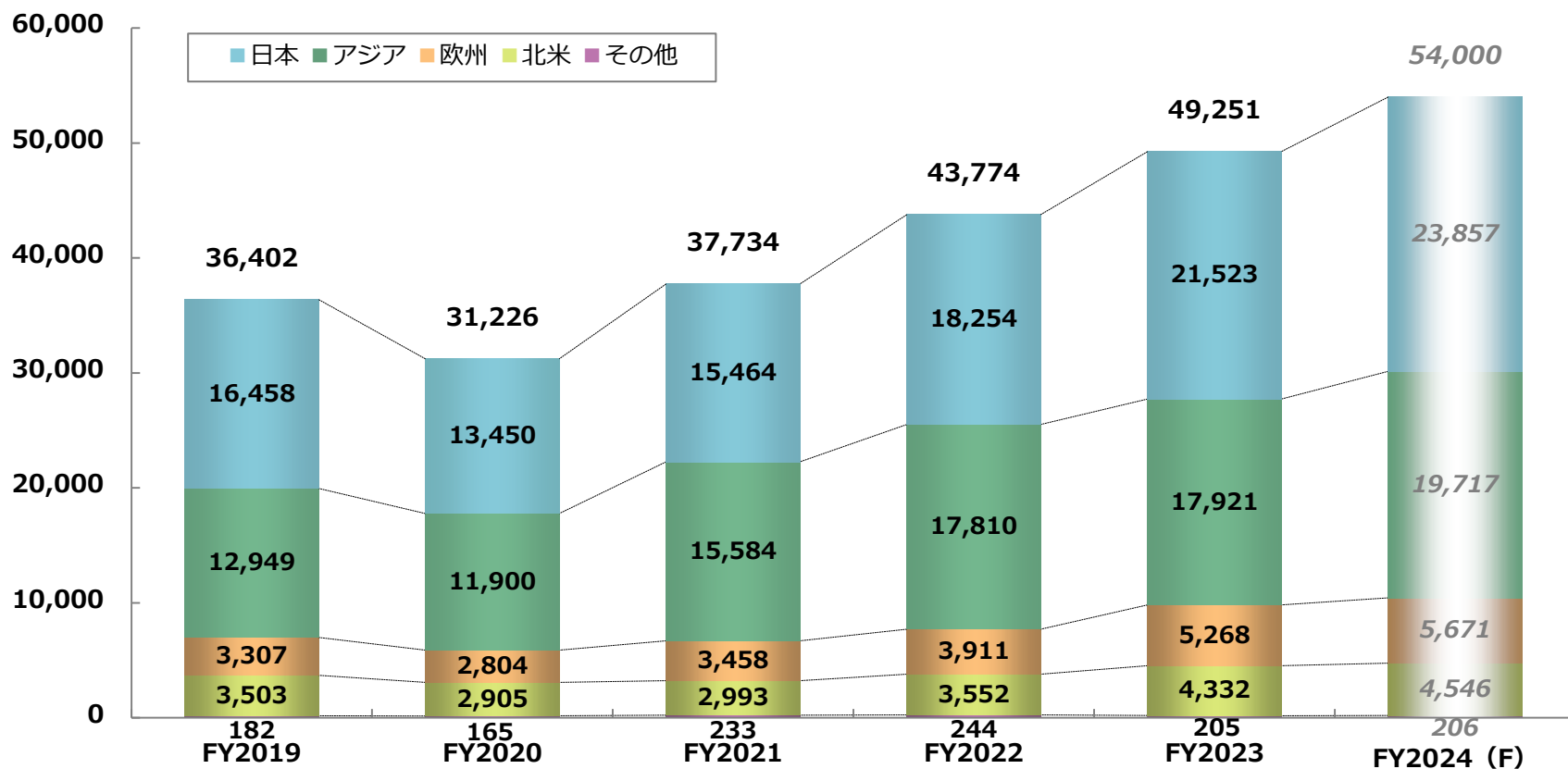
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、SiCエピタキシャル用途が大幅増加。Siエピタキシャル用途は下期より徐々に回復。LED向けは底を脱し回復に向かう見込み。
- ・ C/Cコンポジット製品は半導体用が調整も、工業炉用・太陽電池用は前期並みと堅調。
- ・ 黒鉛シート製品は、自動車用・半導体用・冶金用ともに前期並みと堅調。

4. 地域別売上高

- ✓ 半導体用途の需要増加に加え、アジアにおける電気用カーボンの需要も回復し各地域とも増収を見込む

(単位：百万円)

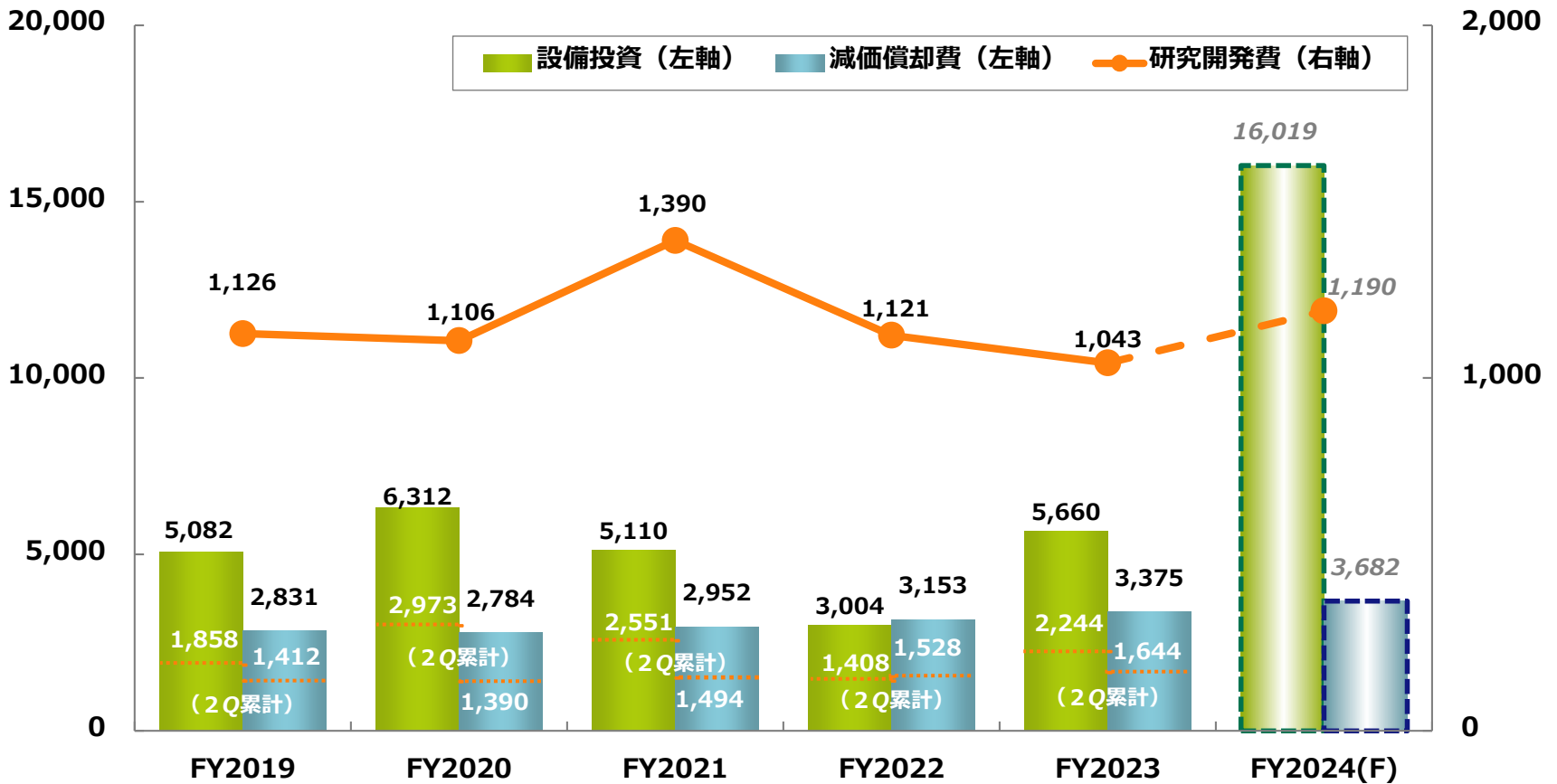


5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

✓ FY2024の設備投資は約3倍となる見込みで、競争力強化に向け投資拡大

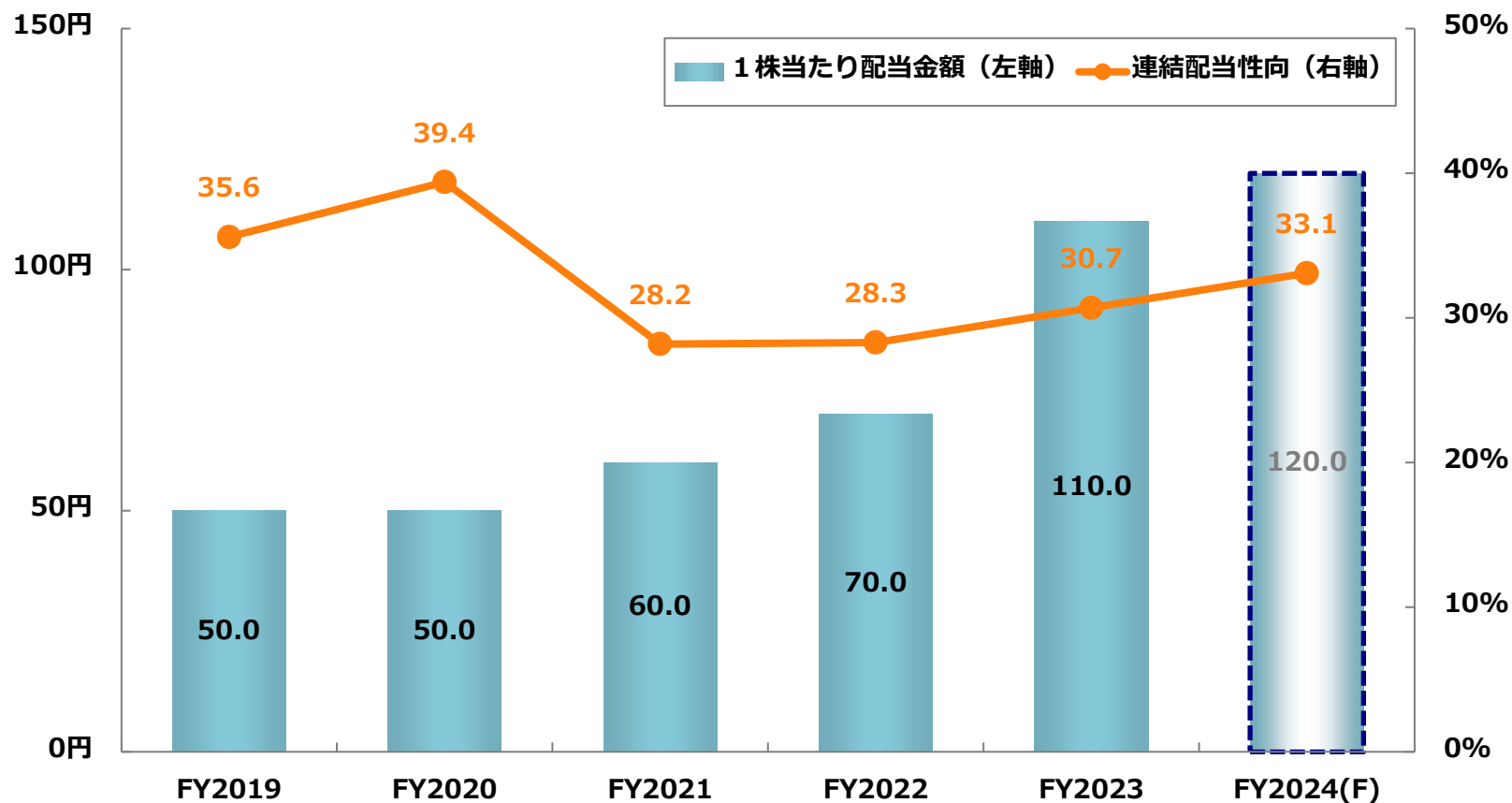
(単位：百万円)

(単位：百万円)



6. 株主還元

- ✓ 株主還元方針に「配当性向30%以上」の基準を設定
これによりFY2023は前期比40円の増配、FY2024は10円増配の予定



TOYO TANSO



Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 050-3097-4950(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp